



教育長あいさつ

新座市教育委員会教育長 金子 廣志

本日ここに、平成28・29・30年度新座市教育委員会
委嘱による新座市立石神小学校の研究発表会が開催されます
ことを心よりお慶び申し上げます。

現在、平成32年度に完全実施を迎える新学習指導要領に
おいては、知識・理解の質を高め、資質・能力を育むため「何
ができるようになるか」を明確化し、目指す資質・能力を全
ての教科等において①知識及び技能②思考力、判断力、表現
力等③学びに向かう力、人間性等、の3つの柱で再整理し、
これらをバランスよく実現していくことが求められておりま
す。

このような中、石神小学校におかれましては、「自ら考えを
深めることのできる授業の創造」を研究主題とし、『伝え合う
力を高める指導の工夫』を副題として熱心に国語科を中心と
した研究に取り組んでこられました。特に授業において、児
童の問題意識を生かした学習課題を立て、多様な言語活動を
経験させれば、主体的に学習に取り組むだろうという研究仮
説をもとに取り組んでこられました。児童が自分の力で学習
計画や学習課題を設定し、「伝えたい」という意欲を高め話し
合いに参加する活動を取り入れた本研究は、新学習指導要領が
目指す「主体的・対話的で深い学び」に通じるものでありま
す。

終わりになりますが、本校の研究のためにこれまで御指導
いただきました、元十文字学園女子大学人間生活学部 教授
松木 正子 様、元浦安市立美浜南小学校教諭 秋山 誠
様をはじめとする諸先生方に心より感謝申し上げますと
ともに、石神小学校 坂口 智 校長を中心に御努力いただいた
教職員並びに研究推進に御協力賜りました保護者、地域の皆
様に感謝申し上げ、あいさつといたします。

研究の全体構想

学校教育目標：学び合い・心豊かに・たくましく

前回発表の反省から

- 成果** 話し合いの中で、自分の考えの根拠を示すことができるようになった。
- 課題** 互いの考えを伝え合い、相手の考えを参考にしながら自分の考えを再構築するには至らなかった。
- 教師の願い** 本気で話し合い、双方向の意見交流をし、自分の考えを深めてほしい。

研究主題

自ら考えを深めることのできる授業の創造

～伝え合う力を高める指導の工夫～

国語科を中心とした授業研究・授業公開・全体研修の実施

目指す児童像

(低学年)
話題にそって話し合うこと
ができる児童

(中学年)
相手の考えと比べながら根
拠を示して話し合うことが
できる児童

(高学年)
相手の意図を汲み取りなが
ら、状況に応じた話し合いをす
めることができる児童

研究仮説

児童の問題意識を生かした学習課題を立て、
多様な言語活動を経験させれば、主体的に学習に取り組むようになるだろう。



学校長あいさつ

新座市立石神小学校長 坂口 智

本日、平成28・29・30年度の3年間の研究の成果を
発表させていただくことは、職員一同大きな喜びであります。
私ども石神小学校教職員は「いのちキラキラ輝かせ じんじ
る心大切に がんばる力実らせて みんなの笑顔咲かせよう」
をキャッチフレーズに、児童一人一人が「笑顔あふれる
楽しい学校」となるよう研究を進めてまいりました。国語に
対する意識調査の中で、話し合いが好きであると答えた児童が
73%、人の話を聞くことが好きな児童は79%というアン
ケート結果がでました。しかしながら、友達の意見を聞いて
自分の考えを深めることには至っていないことが浮かび上が
りました。新学習指導要領においても育成を目指す資質・能
力の3つの柱（①何を理解しているか、何ができるか ②理
解していること・できることをどう使うか ③どのように社
会・世界と関わり、よりよい人生を送るか）が掲げられてい
ます。

そこで、本校では、低・中・高のブロックに分かれて研究
を進め、先行授業を土台にし、熟慮を重ね研究授業を行い授
業改善に取り組んで参りました。その積み重ねがブロックの
結束、一体感のある研究の取組へと連鎖したように思います。
まだまだ研究の途上のつたない発表ではございますが、御
参会の皆様から忌憚のない御意見等をいただき、今後の研究
に生かして参りたいと存じます。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり、懇切丁寧
な御指導をいただきました 元十文字学園女子大学人間生活
学部 教授 松木 正子 様、元浦安市立美浜南小学校教諭 秋
山 誠 様、新座市教育委員会学校教育部教育支援課教育支援
係長兼指導主事 河村 雅博 様、教育支援課指導主事 山崎
孝雄 様に心より感謝申し上げますとともに、発表の機会を与
えていただきました金子 廣志 教育長をはじめとする新座市
教育委員会に御礼を申し上げ、あいさつといたします。

3年間の研修の流れ

平成28年度

平成29年度

平成30年度

●児童の問題意識を生かした学習計画を立てる

●多様な言語活動経験させ、話し合いを活発化させる

●授業改善を行い、主体的に取り組めるようにする

初発の感想を生かして問題をつくり、学習計画を
立て、児童の意欲を高める。

自分の考えを様々なツールで表現させ、話し合う
ための材料をもたせる。

前年度の課題を検討し、より主体的に取り組める
よう授業改善を行う。



グループで考えた学習問題を
精選する。



自分の初発の感想が生かさ
れているか、確認させる。



音読の仕方を工夫すること
を通して、自分の考えをもつ。



心情円盤やハートメーターを
使って、自分の考えをもつ。



事実と自分の意見を付箋で区別
し、考えの根拠を明確にする。



研究協議会で課題を明らかに
し、検討をする。



事前の取組、ワークシート等を
工夫し、授業改善を図る